

シラバス (授業計画)

授業科目名	開講学年	必・選	単位数	担当教員名
経営組織特論	1・2年生	選択	2単位	林 幹男
授業の到達目標及びテーマ 組織システムとしての集団行動の構造と機能、課題を理解する				
<p>授業の概要</p> <p>経営組織を組織とそのメンバー(構成員)とのダイナミックな相互作用である組織行動の側面から考察する。企業組織体における個人と集団の行動に関する研究は、経営学、心理学、社会学等の関連分野における学際的研究である。特に組織心理学においては、組織における人的側面の諸問題がその主要なテーマとなる。「組織は人なり」といわれるように、企業組織体の成長発展、あるいは衰退消滅は人的諸変数により惹起されたメンバーの組織行動に負うところが大きい。本講義では、企業組織行動のシステムとコミットメントのあり方を中心に今日の課題も含めて検討したい。</p>				
<p>授業計画</p> <p>第 1 回 オリエンテーション：組織における心理学的課題(産業社会と心理学との関わり)</p> <p>第 2 回 組織の中の個人(1) パーソナリティと対人認知</p> <p>第 3 回 組織の中の個人(2) 動機づけ(ワーク・モチベーション)</p> <p>第 4 回 組織の中の個人(3) コミットメント①動機と適性・自己評価</p> <p>第 5 回 組織の中の個人(4) コミットメント②組織への適応と貢献</p> <p>第 6 回 組織と集団(1) 組織と集団行動：集団(チーム)のダイナミクス</p> <p>第 7 回 組織と集団(2) 組織コミュニケーション</p> <p>第 8 回 組織と集団(3) リーダーシップ</p> <p>第 9 回 組織とシステム(1) 組織文化</p> <p>第 10 回 組織とシステム(2) 人的資源管理・施策</p> <p>第 11 回 組織とシステム(3) キャリア発達とその支援</p> <p>第 12 回 組織とシステム(4) 組織ストレスとその管理(安全)</p> <p>第 13 回 組織とシステム(5) メンタルヘルスとケア</p> <p>第 14 回 組織とシステム(6) 役割(仕事)とサポート資源(家庭生活、等)</p> <p>第 15 回 組織開発：マーケティングと消費者行動</p> <p>第 16 回 まとめ</p>				
<p>履修上の留意点、準備学習等(事前・事後学習)</p> <p>(事前) 配布する資料および授業に関係する内容については、参考文献などで必ず確認しておくこと。講義中に質疑・討論をおこなう。</p> <p>(事後) 授業でおこなったことを、必ず復習して積み上げる事。各回、少なくとも、1～2時間程度の事前・事後学習が必要である。</p>				
<p>テキスト</p> <p>若林 満(監修)「経営組織心理学」 ナカニシヤ出版, 2008年, 3200円+税 ISBN978-4-7795-0243-9</p>				
<p>参考書・参考文献・参考資料等</p> <p>池田 浩(編)「産業と組織の心理学」 サイエンス社, 2017年, 2350円+税 ISBN978-4-7819-1410-7</p>				
<p>成績評価の方法・基準</p> <p>平常点：授業参加・役割履行(プレゼンテーション)、等・・・60%</p> <p>期末課題レポート・・・40%</p>				